

兵庫運河のアマモに注目が集まっています。環境への取り組みに高い評価

近年、アマモ場は、減少しており、再度育成させるのにそれぞれの地域で苦勞されています。そうしたことから、2008年に第一回、全国アマモサミットが開催され、以後毎年開催されています。このように貴重なアマモが兵庫運河の人口護岸に育ってまいりました。兵庫運河の和田岬線旋回橋の横に神戸市が整備したはまっ子キラキラビーチがあります。ここでは、浜山小学校の児童生徒が兵庫運河の自然を残すプロジェクトの一環で環境学習としてあさりの育成など勉強していますが、この砂浜が、徐々に運河側に流れ込み、そして運河を通る船により、反対側（北側）の人口護岸に数センチ程度の砂が重なり、そこにアマモが育ってきたのです。アマモは、海藻ではなく、イネ科の海草で海の砂地に生えます。水を浄化する力が強く、二酸化炭素を吸い取り酸素を排出いたします。アマモは「海のゆりかご」と呼ばれ、海の生き物たちの住みかや、産卵場所になり、多くの魚や生き物が集まってきます。また、浜山小学校北側には、国土交通省が実証実験として、阪神高速湾岸線の橋脚設置予定箇所になる防波堤の瓦礫の処理で残った海水に馴染んだ土砂を利用して、干潟を作りました。この干潟には、貝類が生息し、それに魚が集まり、今や、エイやクロダイまで来ております。そして、小魚を狙って海鳥もこの干潟にきております。これが今の兵庫運河です。海洋環境教育の活動に注目してください。



海洋環境について学習する子供たち



子どもたちのアマモの植え



兵庫運河の自然を残すプロジェクトの案内版

令和3年第2回定例会市会(8月3日～10月8日)が開かれました。決算特別委員会が設置され、私は、第1分科会で次の2局の審査で発言いたしました。

行財政局・市長室審査(9月8日)への質疑に立ちました。
(質問項目は、5項目になります)

1. 財政健全化と投資のバランスについて

コロナの収束も見通せない状況の中、必要な事業は実施できるのか。投資を進めると健全化指標は増加し、投資を行わなければ、まちの魅力を高めることができないので安定した所得や財産の維持、拡大につながらない。健全化指標を小さくさせ続けることは必ずしもいいことではないと考えるのがいかかか。

2. 区役所業務の民間委託について

今年4月からの区役所電話交換業務の委託に関して、不満の声を多く聞いている。問題に対してどのように認識して、どのような対策と改善を図っていくのか。兵庫区役所、北神区役所の市民課、保険年金医療課の業務委託について今年の10月からスタートすると聞いている。この窓口業務は市民の最前線なので、電話交換業務のような問題が生じないように、十分な準備を行い、委託によって市民満足度が上がるように進めていただきたいがいかかか。

3. デジタル人材の活用について

AIを活用できる人材の獲得が各自治体も激しくなっている中、神戸市はどのような人材獲得の取組をしているのか。

4. 広報について

市長会見の資料で直感的に分かりやすい視覚的なイメージを入れることにより文字だけではなく見てる方の頭に入ってくるのでそうした対応が必要ではないか。

5. 不当要求行為について

不当要求行為から職員を守る取組について法務監察専門官の昨年の相談件数が114件、この行為が重なっていけば、組織や職員の方がそれぞれ萎縮して、柔軟な行政運営ができなくなってしまうことを危惧している。この不当要求の判断基準については慎重に運用して、市民の要求に対し公平性をもって対応すべきではないか。



企画調整局審査(9月9日)への質疑に立ちました。
(質問項目は、3項目になります。)

1. デジタル人材の育成について

神戸のスマート自治体の中核を担うデジタル人材の内部育成について、どのような取り組みを実施しているのか。今年度AI人材に繋がるデジタルエンジニア人材の取り組みを開始したけども、どのように貢献を目指しているのか。

2. スマートシティの推進について

スマートシティの市民参画について、市民意見の反映を含めた市民参画推進の状況はどうか、スマートシティポータルにおけるサービス、また、地元企業を含めた民間企業の協力体制を含め、スマートシティの運営体制についてはどうか。さらに、スマートシティのその自立自走については将来的には官民デジタルインフラとして、当然ながら公共も一定関与しつつ、自ら資金を獲得して自立した運営を果たしていかなければならない。自立自走に向けた見通した方向性についてどうか。など神戸市市内のデータ連携基盤のスマートシティの活用について、かなり専門的な内容について突っ込んだ議論をいたしました。

3. 兵庫運河の活性化と兵庫津の歴史遺産の整備PRについて

兵庫運河を舞台に国交省が干潟実験実証実験に取り組んでいる。また、人工護岸にアマモが育成し水質の環境に向けても大変期待されている。アサリの育成実験だとか環境問題への取り組み、また真珠貝プロジェクトなども含めて、地域挙げて取り組んでいるので広く市民に伝えていただきたい。

以上3項目のうち、デジタル人材とスマートシティについてはかなり専門的な内容で突っ込んだ議論になりました。また兵庫運河の各種実証実験については、SDGs(持続可能な開発目標)の趣旨にそった将来のある取り組みです。